

## 用語説明

### ◎8050問題

80は80歳代の親、50は50歳代の子のことを指し、子のひきこもりが長期化することに伴い、親も高齢化し働けなくなり、生活に困窮したり社会から孤立してしまう問題。

### ◎地域生活支援拠点

障がい者の重度化・高齢化や「親なき後」を見据え、居住支援のための機能(相談、緊急時の受入・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり)を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制。

### ◎精神障がい地域包括システム

精神障がい者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障がい福祉、介護、住まい、社会参加(就労)、地域の助け合い、教育が包括的に確保されたしくみのこと。

### ◎ピア相談(ピアサポーター)

同じ悩みや障がいを持つ仲間(ピア)の相談に乗ったり、サービス利用等の意思決定の際に助言を行う人。

### ◎市町村中核子ども発達支援センター

児童福祉法に基づく児童発達支援に加え、保育所等訪問支援または障害児相談支援の指定を受けていること。また、地域の連携体制や発達支援体制を構築する。

### ◎ペアレントメンター

自らも発達障がいのある子育てを経験し、かつ相談支援に関する一定のトレーニングを受けた親を指す。メンターは、同じような発達障がいのある子どもをもつ親に対して、共感的なサポートを行い、地域資源についての情報を提供することができる。

### ◎情報・コミュニケーション条例

障がいのある方がそれぞれの障がいの特性に応じた手段により情報を取得したり、コミュニケーションしやすい環境づくりを進めるための条例。手話や点字、要約筆記など、障がいのある方が使用するさまざまなコミュニケーション手段の利用を促進する。